

第5号議案

大和都市計画下水道の変更（奈良県決定）

大和都市計画下水道宇陀川流域下水道「2. 排水区域」、「3. 下水管渠」および「4. その他の施設」を次のとおり変更する。

2. 排水区域

接続する下水道	備考
大和都市計画下水道宇陀市流域関連公共下水道	

3. 下水管渠

内 訳	位 置		備 考
	起 点	終 点	
芳野川幹線	宇陀市榛原区福地字ドブ	宇陀市菟田野区別所字弥々ガ窪	
大宇陀幹線	宇陀市榛原区高塚字川原	宇陀市大宇陀区野依字上河原	
放流幹線	宇陀市榛原区桧牧字川向イ	宇陀市榛原区福地字堂ガ久保	

「区域は計画図表示のとおり」

4. その他の施設

内 訳	位 置	備 考
菟田野ポンプ場	宇陀市菟田野区別所地内	面積 約 1,350 m ²
大宇陀ポンプ場	宇陀市大宇陀区野依地内	面積 約 800 m ²
宇陀川浄化センター	宇陀市榛原区福地及び萩原地内	面積 約 38,000 m ²

「区域は計画図表示のとおり」

理 由

関連公共下水道である榛原町、菟田野町および大宇陀町は、平成18年1月1日の3町1村の合併により「宇陀市」として市制が施行された。今回の変更は、上記の合併に伴い、接続する流域関連公共下水道の名称を変更するとともに下水管渠およびその他の施設の位置の住居表示の変更を行うものである。

1. 大和都市計画宇陀川流域下水道の経緯

宇陀川流域は、淀川水系木津川上流（奈良県東部三重県境）に位置し、室生ダムの完成以来（昭和49年）、奈良県の水源池として、吉野川と並び重要な位置を占めるものとなっています。

本流域において、地場産業である皮革産業が古くより行われていることに加え、京阪神のベッドタウンとして急激な住宅開発が進んだことから家庭污水、産業排水が宇陀川へ流入し水質環境が悪化しました。こうしたことから、昭和56年に当初の都市計画決定を受けて以来、鋭意下水道の整備を進めてきました。その結果、平成17年度末現在で宇陀川流域内の下水道普及率は55.4%となっています。一方、流域関連市町村の污水を受け入れる流域幹線管渠の整備率は平成17年度末現在で100%の整備率に至っています。

2. 変更内容

- 接続する関連公共下水道の名称の変更

新市である宇陀市誕生による関連公共下水道の名称の変更

- 下水道管渠及びその他の施設の住居変更

新市である宇陀市の誕生による下水道管渠の起終点及びその他の施設の住居表示の変更